

(株)TBA JICA 事業に採択

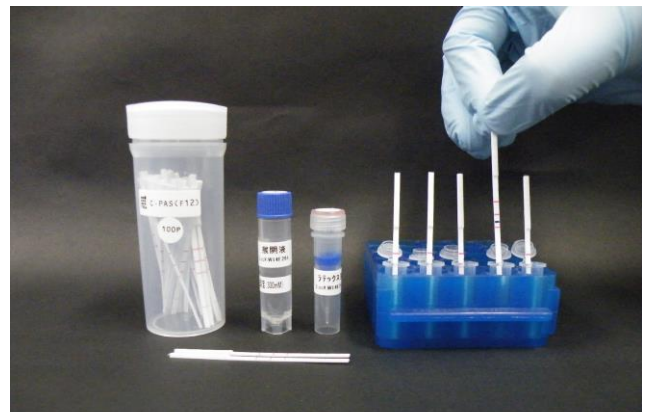
簡易 PCR 検査を活用し、インドのデング熱感染症の早期発見を目指す

国際協力機構（JICA）は9月18日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」において株式会社 TBA（宮城県仙台市、川瀬三雄代表取締役社長）が提案する「地域の医療サービス向上に向けた簡易 PCR 検査導入の取り組み案件化調査」（インド国）を採択しました。

インドは、毎年10万人以上のデング熱患者が発生する世界一のデング熱感染国です。同国政府はデング熱感染症対策に取り組んでいますが、地方・農村部ではデング熱感染の早期発見に繋がる有効な対策を行えていない状況です。早期発見を怠ると適切な対応が遅れ、重篤化し死に至る危険性があることから早期発見及び適切な医療措置が最重要課題となっています。

株式会社 TBA では、何処でも、誰でも、簡単に実施できる簡易 PCR 検査法を開発しました。本検査法の特長は、高額な設備や高度な技術が不要であり、地方・農村部の医療機関向けの検査法であることです。

本検査法をインドに導入することで、地方や農村部でもデング熱感染症の検査サービスを受けられ、早期発見に繋がることが期待できます。また、本検査法は複数のウイルスを同時に検査することが可能であり、新型コロナウイルスとインフルエンザ A・B 型などの同時検査が可能です。案件化調査では、同国における本検査法の活用可能性について調査する計画です。



STH 検査キットによる感染症の検査

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012 年度から実施されており、2020 年度第一回分は本年6月に公示を行い、25 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査 2020 年度第一回公示の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/press/2019/20200205_10.html

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
東北センター（JICA 東北）
2020年11月17日

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 民間連携事業

TEL: 022-223-4772 FAX:022-227-3090 Mail: thicjpp@jica.go.jp

みちのくから世界へ！

JICA 東北ウェブサイト

<https://www.jica.go.jp/tohoku/>